

湖の辺のまち長浜デザイン会議 要点録

と き：R6.1.11 (木) 19:00~21:00

ところ：BIWAKO PICNICBASE

参加者：11名

内 容：

- ◆自己紹介（名前、仕事、今年はじめたいこと）
- ◆湖の辺のまち長浜未来ビジョンの確認
- ◆湖の辺のまち長浜デザイン会議の目標とグランドルールの確認

1. ゆるやかに連帯しよう！
2. 正解も間違いもない！
3. 個人として語り聞かす！

- ◆本日のトークテーマ（参加者提供）

1. 新店舗出店計画

前回話題にあがった「新店舗の営業時間外を子どもの居場所などに活用したい」というアイデアの進捗状況を伺い、開業後の店内のイメージ図を見ながら活用方法を一緒に考えた。

イメージ図には、実店舗を持たない地元の方の商品を販売するための商品棚が描かれたり、今後、近隣の空き店舗の軒先などを活用し、地域住民の方々に向けた朝市や夕市を実施したいという話を伺った。地元の方に喜ばれる事業展開に向けた熱い思いを感じ、他の参加者からも協力、応援したいとの意見が寄せられた。

2. 若者を巻き込んだ事業アイデアの募集（リンクアップフェスタ）

発案者から、リンクアップフェスタというイベントで、地元の高中生や大学生との関りをより一層強め、若者がまちづくりに関わる機会や地域愛を育む機会をつくりたいと発案があった。

参加者からは、駅前のサードプレイス「長浜カイコー」に集う学生たちと協力して何かできないか。若い世代を応援したい大人は多いが、どのようなお節介や支援があると喜ばれるのか知りたい。大人からお節介してもらえることが学生にもウケるのでは、などのアイデアが寄せられた。

イベントの内容についても、商品を製造原価で提供するので販売方法を考える経験をして欲しい、子どもの成長機会につながる体験教室ができるなど、若者の経験・成長を促すため、積極的に働きかける参加者も現れた。

今後は発案者が、長浜カイコーでのサードプレイス事業を実施する市の担当部署に相談され、学生たちの考えを聴いてみることから始めてみることとなった。

3. 空き家の活用方法（インクルーシブカフェ）

前回、「自宅を高齢の方などが楽しめる場として提供したい」という方と、「まちなかで子ども向けの教室を開きたい」という方が参加され、驚くことに本日までに話がまとまり、家屋提供者の離れを使った子どもの体験教室事業が始動していた。

今回は、家屋所有者の当初目的である高齢者の居場所について、母屋をインクルーシブカフェとして活用したいという内容だった。カラムやボッチャ、将棋、囲碁、ピアノ、ギターなど皆で楽しめるツールも備えてある。

既に離れでは子どもの体験教室も始動しており、今回、たくさんのボードゲームを取り扱う事業者も参加されていたことから、協力して高齢者と子どもたちがボードゲームなどを通じて楽しく交流するサービスが提供できるのでは？ということで、次回デザイン会議では実際に家屋所有者宅に伺い、カラムなどを体験しながら今後の展開を考えてみる。

※次回：2/8（木） 19：00～21：00 インクルーシブスポーツカフェ
 (BIWAKO PICNICBASE に集合してから向かいます。)

【記録写真】

